

平成26年度第6回府中市文化センターあり方検討協議会 会議録

- 日 時 平成26年11月25日(火) 午前10時～正午
- 会 場 府中市役所北庁舎3階第六会議室
- 出席者 (委員)
藤江会長、石坂委員、小島委員、高木委員、隆委員、
田中委員、谷委員、奈良崎委員、土方委員、丸山委員、
宮山委員、山崎委員、米村委員
(事務局)
中川市民協働推進本部長、村越市民活動支援課長、
岩田市民活動支援課長補佐、山元地域コミュニティ係長、
望月事務職員
- 欠席者 志水副会長、小林委員
- 議 事 1 開会
2 地域における文化センターの役割等について
3 その他
- 資 料 1 各グループから出た意見等について
- 参 考 1 第46回府中市市政世論調査(概要版)

1 開会

(会 長) 定刻になりましたので、第6回府中市文化センターあり方検討協議会を開会いたします。

まず、事務局の方から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 皆様おはようございます。本日はご多忙のところ、本協議会にご出席いただき、ありがとうございます。それでは、事務局から何点かご報告を申し上げます。

まず、本日の出席状況でございますが、志水副会長、小林委員から欠席とのご連絡をいただいております。現在、定数15名中13名の委員の皆様に出席をいただいております。よって、過半数を超えておりますので、本協議会は有効に成立していることを併せてご報告します。

次に、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、1枚目が本日の会議の次第でございます。

次に、資料1といたしまして、「各グループから出た意見等について」が、A4版の両面刷りで4枚となっております。

また、参考資料として、「第46回府中市市政世論調査(概要版)」が、1冊となっております。

資料は以上でございますが、不足等はありませんでしょうか。

事務局からは以上でございます。藤江会長、どうぞよろしく願いいたします。

(会 長) それでは、議事を進めます。前回10月7日に実施した第4回協議会の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、改めて修正等でお気づきになることはございますか。

(※議事録の修正、確認)

(会 長) それでは、第5回協議会議事録として確定し、あわせて議事録及び資料を、市役所3階情報公開室、中央図書館、ホームページ等で公開することといたします。

2 地域における文化センターの役割等について

(会長) それでは、これより議題に入りたいと思います。議題の(1)「地域における文化センターの役割等について」を事務局からお願いします。

(事務局) それでは、ご説明させていただきます。

資料1の「各グループから出た意見等について」をご覧ください。前回、「地域における文化センターの役割等について」ワークショップを行っていただきました。各グループから出していただきましたご意見等を箇条書きにしたもの、そして、事務局でまとめたものが資料1となっております。

このあと、各グループの代表の方からそれぞれのご意見等を発表していただきますので、事務局からは簡単に説明させていただきます。

1ページ目は、第1グループで記載していただいたご意見を、そのまま転記したものとなっております。

2ページ目は、第2グループから出された意見をまとめております。第2グループのご意見の中では、「接着剤」という単語が多く出されておりましたので、キーワードを「接着剤」と記載させていただきました。

また、まとめるにあたり、「文化センターに求めるもの」と「コミュニティ事業・コミ協活動に求めるもの」の二つのカテゴリー(種類)でわけさせていただきました。

3ページ目は、第3グループから出された意見を同様にまとめております。

4ページ以降は、各グループから出された意見をそのまま記載したのものとなっております。

今回は、まず、各グループから前回のワークショップの簡単な報告を行っていただきたいと思います。

そして、他のグループの意見等を聞いたうえで、前回に引き続

きワークショップをお願いしたいと思っております。

なお、参考資料といたしまして、「第46回府中市市政世論調査(概要版)」を配布しております。

この調査は、府中市在住の20歳以上の男女1000人に、面接聴取したものです。今回、特設質問として、12ページと13ページにコミュニティ協議会に係る調査結果が掲載されております。「コミ協を知っているか」「コミ協の事業に参加したことがあるか」「コミ協に期待すること」の3つの設問に対して、記載のとおりのお返事結果となっておりますので、グループでの検討の際に参考にしていただければと思います。

それでは、今回も多くのご意見を付箋に書いていただきたいと思います。

以上でございます。

(会長) それでは、これから各グループからの発表をお願いしたいと思います。各グループの代表の方から、ご報告をお願いしたいと思います。

それでは、第1グループからお願いします。

(委員) 資料1の図で示したような考え方の組織図です。市から文化センター、その下にコミ協があって、老人クラブや学校・PTA、その他にも警察、消防署といったものがあります。様々なコアがあって、それぞれが結びついていくような形が望ましいのではないかと思います。既に学校では、学校とPTAを起点として、安全まちづくり、防災訓練を実施し、地域の方に参加していただくといった取組を行っています。現在のコミュニティ事業は継続しながら、文化センター圏域の自治会を中心に防災、防犯、福祉などに力を入れていけばいいのではないのでしょうか。

(会長) ありがとうございます。

続いて、第2グループをお願いします。

(委員) 文化センターに求めるものとして、高齢者・子どもの見守りなど

を促すため、母親・父親との交流を図るといのは徐々に出来てきているのかなと考えております。

また地域連携という意味では、先日、消防署を中心に高校生やコミ協、老人会など地域の方々が参加し、地域連携型防災訓練という取組をはじめて行いました。防災や防犯といった観点から地域をつなぐ役割が必要というのは、消防署や警察も危機感を持ってきているのではないかと思います。キーワードとして「接着剤」とありましたが、コミ協がそういった役割を担っていくことが大事ではないでしょうか。

(会 長) ありがとうございます。

続いて、第3グループお願いします。

(委 員) 資料1にもありますが、運営体制が偏っているという意見がありました。コミ協の構成は自治会が主体で、自主グループの参加が少ないので、本当の意味で地域に密着してないのではないかという話があり、コミ協に求めるもので各種団体との交流と書かせていただきました。コミ協は各種団体からしか委員が選出されていませんが、個人の参加も考えて、幅広く人を呼び込んではいかがでしょうか。

また、高齢者や子どもが気軽に集まれる場を作る、参加しやすいようなコミ協の活動が出来ればいいのかと思います。

それから本日配られた参考資料の世論調査を見ると、非常にコミ協に係る認知度が低いです。今後は様々な人を取り込んで、認知度をあげていくことも大事だと思います。

(会 長) ありがとうございます。

様々な意見がありましたが、他のグループでの意見や世論調査の結果なども参考にして、本日は議論を深めていただければと思います。

前回のワークショップで具体的にどのようにしたらいいかという意見もいただいておりますが、例えば、社会福祉協議会や地域包

括支援センターとの連携というご意見について、文化センターの大広間や会議室などを使って、どんな事業やサービスが展開されたらといったイメージを膨らませるなど、前回よりもう少し踏み込んだ検討を進めることができたらと思います。

それでは、前回に引き続き各グループでのワークショップをお願いいたします。

(※ワークショップ開始)

(会 長) そろそろお時間となりました。

それでは、次第の3その他につきまして、事務局からお願いいたします。

(事務局) それでは、次回協議会の日程のお知らせを行いたいと思います。

次回の第7回協議会は、12月16日(火)の午後3時30分から、場所は「明治大学アカデミーコモン11階・F311」での予定となっております。

現地集合となっておりますので、後程、会議開催通知とともに案内図も送付いたします。

1月の協議会でございますが、1月27日(火)午後の予定となっております。

以上でございます。

(会 長) それでは、第7回の協議会は、場所が「明治大学」となりますのでご協力をお願いいたします。

以上をもちまして、平成26年度第6回府中市文化センターあり方検討協議会を閉会いたします。お疲れさまでした。